

第3回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第3回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議			
日時	令和7年11月20日(木) 13時30分~15時30分			
場所	旧市民会館2階第3会議室AB			
出席者 (敬称略)	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 石田 彪我 中川 多賀子 岸田 昌章 戸島 浩子 松山 泰久 東 美樹 平田 敬二 向 律子 【出席委員：11名】			
欠席者 (敬称略)	平家 利也 田村 亜美 森田 知世子 米坂 薫 上江 恵子 小原 秀紀 今田 実 福澤 稔 【欠席委員：8名】			
事務局	総合政策部長 井上 稔章 地域振興室長 前川 朋久 地域振興室主任 今山 知紀 地域振興室主査 上原 慎太郎			
次第	1 開会 2 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2回委員会における確認事項について <ul style="list-style-type: none"> • 条例前文の見直しについて • はぐくむ条例HPアクセス数の比較について 資料1 ホームページアクセス数比較表 (2) すこやか橋本まなびの日ブース出展について 資料2 ホームページ案 (3) 城山小学校6年生 こどもパンフを活用した授業について 資料3 授業報告書 (4) はしもとプラチカの活動報告について 資料4 はしもとプラチカ報告 (5) 橋本市協働の基本指針改定について (6) 10周年記念冊子について 3 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 自治と協働の職員研修について <ul style="list-style-type: none"> 資料5-1 実施要項 資料5-2 グループ案 (2) 協働に関する職員アンケートについて 資料6 2025協働に関する職員アンケート (3) その他 4 閉会			

1 開会

- 委員19名中11名出席により、委員会が成立していることを報告。
- 傍聴者1名。
- 議事録署名人は石田彪我委員、中川多賀子委員。

2 報告

(1) 第2回委員会における確認事項について（事務局より説明）

① 条例前文の見直しについて（平田委員提案）

正副委員長の預かり案件となっていた。協議の結果、

- 条例ではなく現在見直し中の指針への反映が適當ではないか。
 - 現行の条例の内容が橋本市の実態と改正が必要なほど乖離していない。
 - 今後作成する10周年記念冊子で、平田委員の提案を掲載できるのではないか。
以上の点から、今期委員会では条例前文の見直しは行わないとの結論に至った。
- 今期委員会における協働の基本指針の見直しや10周年記念冊子の作成において、
本件の内容を活かしていくことで、平田委員も合意。

② はぐくむ条例HPアクセス数の比較について

- 検証シート中のはぐくむ条例のアクセス数が他と比較してどの程度かとの意見があり、総合政策部内のページと似た閲覧数のページを事務局で選別した。
- 本件内容をもとに深掘りして再質問をすることで、委員合意。

○ 委員長意見

- 受け手が「子どもが喜びそう」、「参加したら楽しそう」といったメリットを感じられるような情報発信が必要。その点も含めて深掘りを検討してほしい。

(2) すこやか橋本まなびの日ブース出展について（事務局より説明）

- 11月9日に、はぐくむ委員会がブース出展したすこやか橋本まなびの日について、ホームページの掲載案を事務局から提示した。

○ 委員意見

- 会場準備に業者を入れたことで、お手伝いのボランティアが減ったことと天気が雨であった影響があるが、スタッフ含め2,500人程度の参加があり盛り上がった。
- レイアウトを見直したことと、昨年より広く感じるという声を来場者から頂いた。
- パネルに関連したクイズを出したことで、パネルを見てもらう機会も増えた。はぐくむの歌に関しては、音が聞こえていたか疑問が残る。
- 受付部分のレイアウトについては見直しが必要。

○ 委員長意見

- ブースを訪れた方の数は昨年と比較してどうか。
- アンケートの提出数は390程度で昨年が380程度の回答数となっている。はぐくむの実に記載してくれた数は昨年より多いと感じている。

- はしもとプラチカのブースはどうだったか。

➢ 雨天にもかかわらず、コーヒーもパンも売れ行きは盛況であった。

○ その他

- 本庁舎ロビーへのはぐくむの木の掲示は事務局と戸島委員・向委員で調整する。

(3) 城山小学校 6年生 こどもパンフを活用した授業について（戸島委員より説明）

- 初めての取り組みで 45 分の授業におけるペース配分が難しかった。
- 児童数や地域の状況など事前準備をしっかりして授業に望む必要がある。
- 子どもの様子を見るために手元資料は可能な限り 1 つに集約することが望ましい。

○ 委員意見

- 学校の先生の様に練習を重ねて資料を見なくても説明できれば理想的。
- パンフレットの内容で説明する部分としない部分を明確にしておく必要がある。

○ 委員長意見

- 反省点もあると思うが、教育委員会や学校と調整して授業を行ったことが画期的。
- 今後は市民参画グループが中心となって、基本的な要素や時間配分のフォーマットを作成し、説明委員が追加要素を加えて授業ができるよう準備を進めてほしい。

(4) はしもとプラチカの活動報告について（東委員より資料をもとに説明）

- プラチカは市民による自由な発想力や企画力と行政による情報収集・整理等の事務的補助によりバランスよく協働が成り立っている。来年も継続していきたい。

○ 委員意見

- 参加するといろんな観点で橋本のことを教えてくれるので、橋本市出身であっても 1 回 1 回が学びになる良いイベントだと思う。

○ 委員長意見

- 報告や資料作りも申し分ない。今後の講座に部長方も参加を検討してほしい。

(5) 橋本市協働の基本指針改定について（事務局より説明）

- 庁内検討委員会の立ち上げを検討中。文量も文字数のみで 7~8 ページに収めるよう検討中。報告できる段階になれば正副グループ長 LINE 等を通じて周知する。

○ 委員長意見

- 指針の見直しについて、市民参加ははぐくむ委員会中心になると思うが、府内でも検討委員会を立ち上げる予定があるのか。また、委員会の規模は。

➢ 地域運営組織検討懇話会を立ち上げる前の府内検討委員会を参考に今後立ち上げる予定。人数も同様に 20 名程度を考えている。

○ 委員意見

- 協働のまちづくりグループはメンバーやスケジュール等について、市から中間報告があれば意見交換を行いたいと考えている。

○ まとめ

- 本件については事務局と協働のまちづくりグループで議論し、正副グループ長会議を通じて委員会へ報告する。
- 事務局は改定に向けたスケジュールや改定の方法、ポイントなどを整理する。

(6) 10周年記念冊子について（事務局より説明）

- A4の両面カラーで40ページの冊子を2,000部で想定して予算要求を行っている。策定スケジュール等については未定。内容も含め今後、委員会と調整したい。
- これまでの皆様の活動の歴史を1つの結果として出していきたいと考えている。

○ 委員長意見

- 事務局とはぐくむ委員会の合同で編集委員会を立ち上げ、これまでの足跡を次の世代にバトンタッチ出来る冊子をつくりたい。委員の皆さんも協力をお願いする。

3 議事

(1) 自治と協働の職員研修について（事務局より説明）

- 当日の参加予定は職員が午前・午後で55名程度、はぐくむ委員が10名程度。
- 市長の予定が変更となり、午後の開会挨拶も堀内委員長でお願いします。

○ 委員長意見

- グループ発表は時間を削ってでも全グループにしてもらうべき。
➢ 事務局で時間を調整し、全グループが発表するように修正する。
- 事務局から講師の紹介が必要ではないか。→兼田氏と調整し準備する。

○ 委員意見

- ワークショップの流れが委員となっているが、前回決まっていなかったと思う。
➢ 司会担当がワークショップの流れの説明も担えばいいのではないか。→異議なし。
- 高島市の指針などは、参加職員は事前に見るよう案内されているのか。
➢ 高島市の指針など事前確認をお願いしている。
- 前回事前に決めた発表者やファシリテーターの調整は行わないのか。
➢ グループ再調整も含め、事務局に一任頂けないか。→本人の合意を条件に承認。

(2) 協働に関する職員アンケートについて（事務局より説明）

- 最後の設問は、はぐくむ委員会から聞きたい内容を反映できるため、希望がないか確認したい。特になければ前回と同じ質問で実施したいと考えている。

○ 委員長意見

- アンケートはスマホ・PCどちらでも回答できるのか。→どちらでも可能。
- 特に意見なければ、昨年度と同様の質問で実施してよいか。→異議なし。

(3) その他

- 事務局からまなびの日のアンケートとはぐくむの木の準備作業に協力を依頼。

4 閉会

【會議錄署名欄】

委員長

王國內秀雄。

【會議錄署名欄】

委員

中川多賀子

【會議錄署名欄】

委員

石田 庄我